

# 令和7年保育士試験（前期）問題

## 保育実習理論

（選択式20問）

指示があるまで開かないこと

### 【注意事項】

各問題の正答数は、問題文中に示される。

問題文中に示された正答数と異なる数を解答すると、不正解になる。

#### 【例題1】

問1 次のうち、○○に関する記述として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ……
- 2 ……
- 3 ……
- 4 ……
- 5 ……

正答が「2」である場合は、マークシートの「②」を塗りつぶしていれば正解になる。

問題番号	解 答 番 号
問1	① ● ③ ④ ⑤

問題文中に示された正答数と異なる数を塗りつぶすと不正解になる。

問題番号	解 答 番 号
問1	① ● ● ④ ⑤

#### 【例題2】

問2 次のうち、○○に関する記述として、正しいものを3つ選びなさい。

- 1 ……
- 2 ……
- 3 ……
- 4 ……
- 5 ……

正答が「2」「3」「5」である場合は、マークシートの「②」「③」「⑤」を塗りつぶしていれば正解になる。

問題番号	解 答 番 号
問2	① ● ● ④ ●

問題文中に示された正答数と異なる数を塗りつぶすと不正解になる。

問題番号	解 答 番 号
問2	① ② ● ④ ⑤

問題番号	解 答 番 号
問2	① ② ● ④ ●

解答用紙に「記入上の注意事項」が記載されているので併せて確認すること。

問1 次の曲の伴奏部分について、基本的な和音の理論に基づき、A～Dにあてはまるものとして最も適切な組み合わせを1つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	ア	イ	ウ	エ
2	イ	ア	ウ	エ
3	ウ	ア	イ	エ
4	ウ	エ	ア	イ
5	エ	イ	ウ	ア

問2 次のA～Dの音楽用語の意味を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- A a tempo
- B allegro
- C poco a poco
- D rit.

【語群】

ア おだやかに	イ 最初の速さで	ウ もとの速さで	エ 快速に
オ 激しく	カ 少しずつ	キ すぐに	ク だんだん遅く
ケ だんだん速く	コ だんだん弱く		

(組み合わせ)

- A B C D
- 1 ア エ キ ク
- 2 イ オ カ キ
- 3 イ ケ キ コ
- 4 ウ エ カ ク
- 5 ウ オ ケ コ

問3 次の楽譜からマイナーコード（短三和音）を抽出した正しい組み合わせを1つ選びなさい。

ア                    イ                    ウ                    エ                    オ                    カ

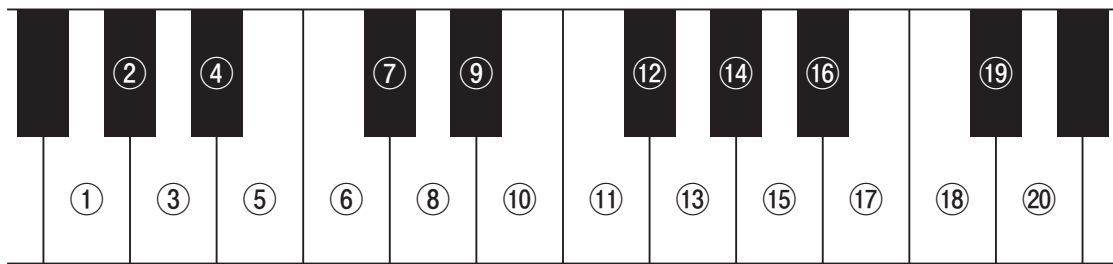


(組み合わせ)

- 1 ア イ エ
- 2 ア ウ オ
- 3 ア エ カ
- 4 イ ウ オ
- 5 イ ウ カ

問4 次の曲を4歳児クラスで歌ってみたところ、最高音が歌いにくそうであった。そこで短3度下げて歌うことにした。その場合、A、B、Cの音は、鍵盤の①～⑳のどこを弾くか、正しい組み合わせを1つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。



(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ⑥ | ⑬ | ⑩ |
| 2 | ⑧ | ⑮ | ⑪ |
| 3 | ⑧ | ⑮ | ⑫ |
| 4 | ⑨ | ⑯ | ⑫ |
| 5 | ⑨ | ⑯ | ⑬ |

問5 次のリズムは、ある曲の歌い始めの部分である。それは次のうちのどれか、1つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

- 1 まめまき (エホンシヤウカ)
- 2 ぼくのミックスジュース (作詞：五味太郎 作曲：渋谷毅)
- 3 赤い鳥小鳥 (作詞：北原白秋 作曲：成田為三)
- 4 きらきら星 (フランス民謡)
- 5 やぎさんゆうびん (作詞：まど・みちお 作曲：團伊玖磨)

問6 次の記述のうち、適切なものを3つ選びなさい。

- 1 メヌエットは、元気に歩くような2拍子の曲である。
- 2 「母とおさなごの歌」は、フレーベル (Fröbel, F.W.) がまとめたものである。
- 3 「わらべうた」とは、大正期に作詞家や作曲家が子どものために作った歌のうち、唱歌以外のものを意味する。
- 4 2音でできている「わらべうた」は、上の音で終わることが多い。
- 5 音名「ニ」は、へ長調の階名「ラ」である。

問7 次の文を「保育所保育指針」第1章「総則」4「幼児教育を行う施設として共有すべき事項」(2)「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」コ「豊かな感性と表現」の一部として完成させる場合、(A)～(D)の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

心を動かす(A 出来事)などに触れ(B 感覚)を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや(C 考えた)ことを自分で表現したり、友達同士で表現する(D 過程)を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問8 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

L保育士（以下、L）と実習生Sさん（以下、S）が3歳児クラスの保育室に展示してある子どもの絵を見ながら話をしています。

L：顔から手足がでていような絵を描いていますね。これらは（ A ）とよばれています。

S：これらは1歳頃にみられる表現だと思っていました。

L：いいえ、一般的に1歳から2歳にみられる描画表現で代表的なものは（ B ）です。発達の流  
れで、（ A ）のような絵を描いて意味づけしたり、説明したりする時期のことを象徴期とい  
われています。

S：象徴期の後は（ C ）期ですか。

L：そうです。（ C ）期に比べて象徴期はイメージを（ D ）に描くといわれています。

S：今の子どもの描画の発達が表現された絵を展示することは、保護者にその子の育ちの現状を伝え  
る上でとても大切ですね。

**【設問】**

（ A ）～（ D ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	頭足人	スクリブル	写実	羅列的
2	胴足人	レントゲン描法	図式	規則的
3	頭足人	レントゲン描法	写実	系統的
4	頭足人	スクリブル	図式	羅列的
5	胴足人	スクリブル	写実	規則的

問9 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

T保育所では、園庭にある遊具の色を塗り替えることになりました。主任のN保育士（以下、N）は、色選びについて、色彩に詳しいK保育士（以下、K）に相談しています。

N：滑り台の色は、（ A ）で塗ろうと思いますが、どうでしょうか。

K：（ A ）は明度が高いですが、視認性・誘目性が高いという観点では（ B ）のような（ A ）より彩度の高い色も候補になると思います。

N：鉄棒の柱を黒に塗るのはどうでしょうか。

K：黒は（ C ）ですし、目立たないので、子どもたちがぶつかる危険性があると思います。

N：鉄棒に挑戦する子どもが増えるように、子どもたちに好きな色を聞いてみてもよいかもしれませんね。

**【設問】**

（ A ）～（ C ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

（組み合わせ）

	A	B	C
1	ピンク	赤	有彩色
2	ピンク	赤	無彩色
3	赤	ピンク	純色
4	赤	ピンク	無彩色
5	赤	ピンク	有彩色

問10 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

保育所内でのお泊り保育を翌月に控え、H保育士（以下、H）とM保育士（以下、M）が夜のお楽しみ会について話をしています。

H：暗闇の中で、子どもたちに楽しく園内探検を体験してもらいたいと考えています。

M：そうですね。それなら蛍光色の絵の具で描いた絵を壁に貼って、子どもたちが懐中電灯型のブラックライトを手を持って探検するのはどうですか。まるで絵が光っているように見えます。

H：どうして光っているように見えるのですか。

M：ブラックライトは、（ ）を放射するライトで、蛍光色の絵の具の色が鮮やかに見えます。私たちの身近なところでも活用されていますよ。

H：ブラックライトを使用する際に注意することは何ですか。

M：（ ）を放射するので、長時間にわたり直接ライトを見たり、肌に当てたりすることは避けましょう。

H：使用方法に気をつけながら、今度の活動に取り入れてみたいです。

【設問】

（ ）にあてはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 紫外線
- 2 赤外線
- 3 遠赤外線
- 4 X線
- 5 可視光線

問11 次のうち、粘土に関する記述として、適切なものを2つ選びなさい。

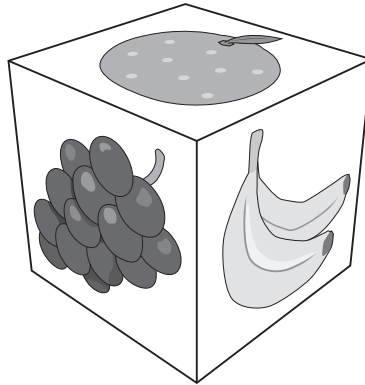
- 1 粘土の種類には、小麦粉でつくる小麦粉粘土や、米粉でつくる米粉粘土もある。
- 2 天然の土粘土は、砂より粒子が細かい。
- 3 天然の土粘土は、採取地に関わらず同じ色味である。
- 4 紙粘土でつくった作品を800℃で焼成するとテラコッタとよばれる焼き物になる。
- 5 乾燥して固くなった土粘土は、水を加えても柔らかくならない。

問 12 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

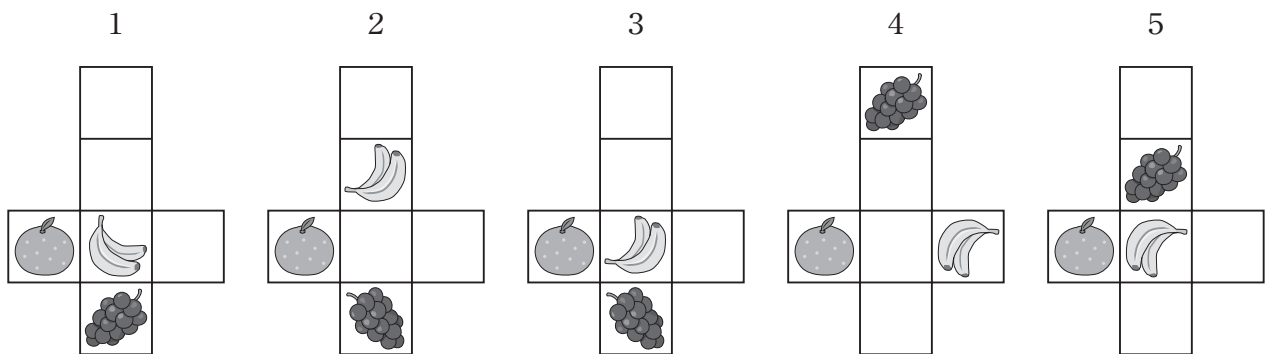
P 保育所では、大きなサイコロをつくることにしました。図1のように3つの面にそれぞれぶどう、みかん、バナナの絵を描きました。

図1



【設問】

次の1～5のうち、図1の展開図として正しいものを1つ選びなさい。(紙などを実際に折ったり切ったりしないで考えること。)



問 13 次のうち、「保育所保育指針」第 2 章「保育の内容」2「1 歳以上 3 歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」(2)「ねらい及び内容」イ「人間関係」の一部として、正しいものを 2 つ選びなさい。

- 1 保育士等の受容的・応答的な関わりの中で、欲求を適切に満たし、安定感をもって過ごす。
- 2 保育士等や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。
- 3 保育所の生活の仕方に慣れ、きまりがあることや、その大切さに気付く。
- 4 友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。
- 5 身の回りを清潔に保つ心地よさを感じ、その習慣が少しずつ身に付く。

問 14 次のうち、保育所での実習日誌を記入する際の留意点として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを 1 つ選びなさい。

- A 実習日誌は、観察した内容を記録するとともに、考察や感想などを含めて書くようにする。
- B 実習日誌は、園や子どものことを正確に理解してから書いた方がよいので、最終日にまとめて書く。
- C 実習日誌には、子どもの生活や遊びの姿と共に保育者の動きを記入するが、自分自身の動きを「実習生の動き」として記入する必要はない。
- D その日の出来事を時系列に沿って書く方法や、エピソードを取り上げてそのことを中心に書いていく方法など、記入の方法は一つとは限らない。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問 15 次のうち、保育士の行動として適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- A 保育士は、保護者の支援を第一に考え、場合によっては子どもの利益より保護者のケアを優先させなければならない。
- B 保育士は、一人ひとりのプライバシーを保護するため、保育を通して知り得た個人情報や秘密を守らなければならないが、保育士自身の家族や友人ならば開示しても良い。
- C 保育士は、地域で子どもを育てる環境づくりに努めなければならない。
- D 保育士は、資格取得をしてからも、研修や自己研鑽を通して、常に自らの人間性と専門性の向上に努めなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	×	×	○
2	○	×	×	×
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問 16 次のうち、「保育所保育指針」第 1 章「総則」 1 「保育所保育に関する基本原則」(5)「保育所の社会的責任」の一部として、正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを 1 つ選びなさい。

- A 保育所は、子どもの人権に十分配慮するとともに、子ども一人一人の人格を尊重して保育を行わなければならない。
- B 保育所は、地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に、当該保育所が行う保育の内容を適切に説明するよう努めなければならない。
- C 保育及び子育てに関する知識や技術など、保育士等の専門性や、子どもが常に存在する環境など、保育所の特性を生かし、保護者が子どもの成長に気付き子育ての喜びを感じられるように努めること。
- D 保護者に対する子育て支援における地域の関係機関等との連携及び協働を図り、保育所全体の体制構築に努めること。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問 17 次の文は、「保育所保育指針」第 1 章「総則」 3 「保育の計画及び評価」の一部である。

( A ) ～ ( C ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを 1 つ選びなさい。

全体的な計画は、保育所保育の全体像を ( A ) に示すものとし、これに基づく指導計画、( B )、食育計画等を通じて、各保育所が ( C ) して保育できるよう、作成されなければならない。

(組み合わせ)

- |   | A   | B    | C    |
|---|-----|------|------|
| 1 | 客観的 | 保育計画 | 創意工夫 |
| 2 | 包括的 | 保育計画 | 連携   |
| 3 | 客観的 | 保健計画 | 連携   |
| 4 | 包括的 | 保健計画 | 創意工夫 |
| 5 | 客観的 | 保育計画 | 連携   |

問 18 次のうち、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」に示された保育の「ねらい」と「内容」の説明として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- A 「ねらい」は、子どもが保育所において、乳幼児期に身に付けるべき基本的知識・技術を、子どもの生活する姿とは切り離して系統的に示したものである。
- B 「ねらい」は、子どもが保育所において、安定した生活を送り、充実した活動ができるように、保育を通じて育みたい資質・能力を、子どもの生活する姿から捉えたものである。
- C 「内容」は、「ねらい」を達成するために、保育士等が援助して子どもが環境に関わって経験する事項を示したものである。
- D 「内容」は、「ねらい」を達成するために、子どもの生活やその状況に応じて保育士等が適切に行う事項を示したものである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	×	○	○
2	○	×	○	×
3	○	×	×	×
4	×	○	○	○
5	×	○	×	○

問 19 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

児童発達支援センターで実習をしている大学生のFさん（20歳、女性）は、自閉スペクトラム症であるHちゃん（5歳、女兒）の支援を担当することになった。Hちゃんは言葉によるコミュニケーションと、活動の切り替えが苦手である。Hちゃんが外遊びをしているとき、昼食の時間になったため、Fさんが「Hちゃん、お昼ご飯の時間だから、お部屋に入ろう」と声をかけた。しかしHちゃんはFさんの声かけに反応せず遊び続け、保育室に入ろうとしなかったため、Fさんは困ってしまった。

**【設問】**

次のうち、Fさんの振り返りの内容として、適切なものの組み合わせを1つ選びなさい。

- A Hちゃんが自分の声かけに反応しなかったのは、障害とは関係なく、今日初めて支援を担当した実習生にまだ慣れていなかったからで、この場面ではすぐに担当の職員を呼びに行った方がよかった。
- B Hちゃんが反応しなかったのは、遊びに集中していて、自分の声かけが耳に入らなかったからではないかと考えた。
- C Hちゃんは言語によるコミュニケーションが苦手なので、声かけだけでなく、手を引っ張ったり、肩をつかんで保育室が視界に入るよう体の向きを変えたりするなどの支援が必要だった。
- D Hちゃんは活動の切り替えが苦手なので、外遊びの前にイラスト付きのスケジュール表を見せながら見通しを持てるように支援する必要がある。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問 20 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

母子生活支援施設で実習をしている大学生のUさん（20歳、女性）は、実習指導担当保育士からKさん（30歳、女性）とWちゃん（4歳2か月、女兒）の自立支援計画を作成するよう言われた。Kさんは外国籍で、来日6年目になる。職場で日本人の男性と知り合い、結婚後、Wちゃんを出産した。実習指導担当保育士によれば、Kさんは結婚後、夫から暴力を振るわれるようになった。そして、Kさんを心配した友人の支援を得て、DV被害者のためのシェルターに入所した後、現在生活する母子生活支援施設に入所した。Wちゃんは、母子生活支援施設の近くの保育所に通っており、徐々に新しい生活にも馴染んでいるが、Kさんは施設の職員とも簡単な日本語でのやりとりしかできず、居室にこもっていることが多い。また、KさんはDVの影響もあり、職員に体調不良や不眠を訴えているとのことだった。

**【設問】**

次のうち、Uさんが自立支援計画を作成する際に、留意すべきこととして、適切なものの組み合わせを1つ選びなさい。

- A Kさんの子育て支援のニーズを把握するためにも、Wちゃんの様子をよく観察する。
- B Kさんが受けていたDVの内容について、それとなくWちゃんに聞いてみる。
- C Kさんが抱える困難について理解するため、外国籍の方の悩みや支援に関する情報を収集する。
- D Kさんの日本語習得と生活自立に関する支援を最優先し、Kさんの心のケアについては退所後の目標とする。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D